

# 行政事業レビューとは

## 行政事業レビューとは

### 【自律性】

- ① 霞が関の各府省庁自らが、
- ② 全ての事業を対象に

### 【透明性】

- ③ 執行実態を明らかにした上で、点検の過程を「見える化」し、

### 【外部性、公開性】

- ④ 外部の視点を活用しながら点検を行い、

- ⑤ 結果を予算や執行等に反映させる、

取組である。

○ 無駄の削減や事業の効果的・効率的な実施のためには、まず各府省庁が自ら主体的に取り組むことが不可欠

○ 毎年、国の全ての事業(約5,000事業)を網羅的に点検し、徹底的、継続的に無駄や改善すべき点がないかチェック

○ 全ての事業について、統一した様式の「レビューシート」を作成  
事業の執行状況や成果、資金の流れ、自己点検の内容を全面公開

○ 点検の内容、点検を踏まえた対応を「レビューシート」上に公開  
⇒ 過程を透明化し、緊張感のあるチェックを実施

○ 前年度に新規に開始した事業や継続の是非を判断する必要がある事業など、全ての事業を5年に一度を目途に、外部有識者による点検を実施(約1,000事業)

○ そのうち一部の事業について、公開の場で事業の点検を実施  
(公開プロセス)

○ 各府省庁によるレビュー終了後、行政改革推進会議が、各府省庁の自己点検が十分かどうかについて、公開の場で検証(秋のレビュー)

○ 「点検のための点検」ではなく、点検結果を翌年度予算の要求や事業の執行に反映

○ 秋のレビューの結果は予算編成過程で活用